

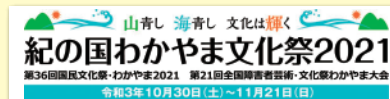
主な記事  
2~3面 令和3年2月定例会の概要  
4面 令和3年4月臨時会の概要  
議会活動の紹介  
県議会からのお知らせ

# わかやま 県議会だより

WAKAYAMA PREFECTURAL ASSEMBLY

## 和歌山の話題

本年、和歌山県において開催される  
文化の祭典です。



## 県民の暮らしと経済を守り切る 新しい世界への対応と挑戦

令和3年度 当初予算を可決

一般会計当初予算額

6,120億円



予算特別委員会 質問委員(8人)

3月11日(木)	3月12日(金)
新島 雄	長坂 隆司
中 拓哉	玉木 久登
高田 由一	中西 峰雄
堀 龍雄	吉井 和視

予算特別委員会での、主な質疑は次のとおりです。(要約)

**問** 高齢者や障害者向けの宿泊施設について

**答** 和歌山県が今後も多くの皆さんから選ばれる観光地として持続していくためにも、高齢者や障害者、そのご家族の皆さんが安心して訪れることのできる受入態勢を整備していくことは重要な課題です。

**問** スーパーシティ構想について

**答** 県とすさみ町では、南紀スーパーシティ構想(仮称)の実現に向けて検討を進めています。

本構想では、全国に先駆け、超高齢社会を迎えているすさみ町において、オンライン診療による健康・医療の高度化やドローン活用などによる災害対応の高度化といった最先端技術で安全・安心で便利に暮らせるまち

づくりを行うとともに、顔認証を活用したどこでも手ぶら・顔パスでストレスフリーに観光できる環境の整備などにより、域外から多くの投資を呼び込むことで、将来にわたって持続的に発展できる地域への進化を目指しています。

**問** 県立博物館施設の課題について

**答** 県立博物館施設は重要な社会教育施設であり、その使命を十分に果たせるよう、施設の不具合や設備の更新等を適宜行っているところです。紀伊風土記の丘、自然博物館については、現在、施設の老朽化や収蔵スペース等が不足するなどの課題があることから、博物館機能の一層の充実、向上を図るため、新館建設の準備を進めているところです。

**問** 農産物等の輸出について(輸出拡大に向けた産地支援)

**答** 国内では少子高齢化に伴う人口減少により食の市場規模が縮小傾向にある一方、海外においては新興国の経済成長や人口増加により拡大傾向にあり、本県農業の将来を見据えたときに、世界に目を向け、輸出に取り組むことが重要であると考えています。

このため、県では、新品種の育成をはじめ、農薬飛散防止用ネットの整備に加え、輸出先国で使用可能な

農薬だけを使った実証園の設置などを支援しているところです。

今後こうした取組に加え、JAGグループや輸出先国の販売業者等との連携を図りながら、品目別にターゲット国や地域を定め、戦略的に輸出を拡大していきます。

**問** 和歌山県立医科大学薬学部の開学に際しての交通渋滞・混雑対策について

**答** 新設される和歌山県立医科大学薬学部や和歌山城ホール周辺の交通渋滞、交通混雑への対策については、まず、これら施設周辺の交差点での右折や左折を禁止するなどの規制をかけることや、あるいは、周辺道路を一方通行にすることにより、車両等の流れを整えることにしています。

また、周辺道路の信号機の時間調整等を行うことなどにより、渋滞の解消に努めます。

**問** コロナ不況下における雇用対策(離職者の再就職支援)について

**答** 「離職者の再就職支援」については、コロナの影響を受けて失業され、正規雇用を目指す求職者と人材需要があり正社員を求める企業とのマッチングを図るため、座学と職場実習による研修機会を提供し離職者の早期の再就職を支援するも

ので、対象とする離職者の状況に応じて「直接雇用型」と「間接雇用型」2つのスキームを用意し、選択できる仕組みとしています。

コロナの影響による厳しい雇用情勢下で失業された方々には、ニーズに合った取組を選択し積極的に活用していただくことで早期に安定した雇用が確保できるよう、しっかりと取り組んでいきます。

**問** 新型コロナワクチン接種における県の役割について

**答** 新型コロナワクチンの接種は、国の指示の下、都道府県の協力により、市町村において実施することになっていきます。

県では、ワクチン接種に関する様々な情報を広く県民に発信するとともに、市町村では対応困難なワクチンの副反応などの専門的な相談にも対応していくこととしていきます。

新型コロナワクチンの接種は、通常の予防接種に比べ非常に大規模なものであることから、市町村が実施主体とはいえ、県の積極的な関与が不可欠であると考えており、地域において円滑な接種が実施できるよう、接種に協力してくれる医療機関や医療従事者の確保、ワクチンの取扱いなど、様々な観点から市町村を支援していきます。

**問** デジタル社会に向けた教育委員会の取組について

**答** 県教育委員会では、平成31年度より国に先駆けて、コンピュータに慣れ親しみ、使いこなすことができる力を育むため、小学校から高等学校までを体系化したプログラミング教育「きのくにICT教育」を実施しています。

また、本年度末には、GIGAスクール構想等により1人1台のコンピュータが小学校から高等学校まで整備されます。それらが授業において有効に活用されるよう、研修や体制を強化し、各市町村教育委員会を巻き込んで、県下一円を進めていきます。



予算特別委員会の様子

# 2月定例会の概要

会期 2月22日～3月18日の25日間

## 会期中の主な動き

### 特別委員会の開催

- 防災・国土強靱化対策特別委員会……3月5日
- 半島振興・地方創生対策特別委員会…3月9日

### 選挙の実施

- 和歌山県選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙……3月18日

質問議員 18人

3月4日(木)

藤山 将材  
多田 純一

3月5日(金)

秋月 史成  
浦口 高典  
鈴木 徳久  
佐藤 武治

3月8日(月)

中西 徹  
山家 敏宏  
奥村 規子  
藤本 眞利子

3月9日(火)

川畑 哲哉  
片桐 章浩  
杉山 俊雄  
尾崎 太郎

3月10日(水)

谷口 和樹  
北山 慎一  
楠本 文郎  
井出 益弘

## 議案等の議決結果

項目	件数	概要	結果
予算案件(知事提出)	33件	令和3年度和歌山県一般会計予算 等	可決
条例案件( // )	28件	知事及び副知事の給与その他の給付条例の一部を改正する条例 等	
条例案件( // )	2件	和歌山県特定公共賃貸住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例 等	継続審査
人事案件( // )	17件	和歌山県教育委員会の教育長の任命につき同意を求めるについて 等	同意
その他案件(議員提出)	1件	和歌山県議会会議規則の一部を改正する規則	可決
その他案件(知事提出)	22件	令和3年度建設事業施行に伴う市町村負担金について 等	不採択
請願	1件	後期高齢者の医療費窓口自己負担2割化方針の撤回を国に求める意見書の提出を求める請願	
意見書	6件	大学等における新年度の授業の実施に関する意見書	可決
		「新型コロナウイルス」ワクチン接種に関する意見書	
		緊急事態宣言により影響を受けた全国の事業者への支援及び雇用対策についての意見書	
		「GoToトラベル事業」に係る意見書	
		核兵器禁止条約の批准を求める意見書	否決
核廃絶に向けた取り組みを求める意見書			

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は、次のとおりです。(要約)

### 令和3年度新政策

**問** 令和3年度新政策の基本的な考え方はどうか。

**答** 新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、保健医療行政を強化するとともに、苦境に立たされている地域経済や雇用等を守り抜くことが必要です。

一方で、コロナ後の新しい世界の流れをうまく取り入れ、新たな取組に挑戦していくことも重要です。

新政策では「コロナ禍から経済とくらしを守り抜く」「新しい世界への対応と挑戦」の2つの政策を柱として積極果敢に施策を展開して、コロナ危機からの難局を乗り越えていくとともに、和歌山を元気にし、力強い再生・発展を実現するため、全力で取り組んでいきます。

### 新型コロナウイルス感染症の検査体制拡充

**問** 検査体制を充実させるため、どう取り組んでいるのか。

**答** 県では第3波の状況を踏まえ、県環境衛生研究センターに遺伝子解析機器を新たに導入するなど、さらなる検査体制の充実に取り組んでいます。

また、高齢者等が入所する施設では、施設内での感染拡大を防止するため、簡易に検査ができる抗原検査キットを配付し、新規入所者を対象としたスクリーニング検査を行っています。

### STOP! コロナ差別

**問** 新型コロナウイルス感染症に係る誹謗中傷等に対してどう取り組んでいるのか。

**答** 県では、誹謗中傷等が発生した場合、新型コロナウイルス感染症に係る誹謗中傷等対策に関する条例に基づき、誹謗中傷等をやめるよう指導します。

また、誹謗中傷等は刑事罰や被害者からの損害賠償請求のおそれがあり、行った人自身の人生も変えてしまいます。県民に対して、誹謗中傷等を決して行わないよう、県の広報媒体やチラシ配布等により、強く訴えかけていきます。

### 誹謗中傷等に対する取組について

**問** 新型コロナウイルス感染症に係る誹謗中傷等に関する相談窓口の周知と啓発について、今後どのように取り組むのか。

**答** 今後も、県の広報媒体や市町村の広報誌等により、専用の相談窓口「コロナ差別相談ダイヤル」を周知し、誹謗中傷等に悩まれている人が一人で悩まずに相談いただけるよう取り組みます。また、新たに啓発チラシを作製し、各家庭へ配布すること等により、広く県民に対して誹謗中傷等を行わないよう訴えかけていきます。

コロナ差別相談ダイヤル  
TEL:073-441-2563  
FAX:073-433-4540

### PCR検査

**問** PCR検査を実施する目的、意義は何か。

**答** PCR検査は、医師が新型コロナウイルスの感染を疑う者に対し、診断を行うために実施する病原体検査で、感染の可能性を考慮せず、やみくもに検査を実施すればいいというものではありません。

県では、PCR検査の重要性を認識し、感染者の早期発見に不可欠となる検査体制の強化・拡充に努めてきました。適切に対象者を選定し、広く迅速に徹底した検査を実施する本県スタイルにより、引き続き、感染拡大防止に取り組んでいきます。

### ヤングケアラーへの支援

**問** 本県でもヤングケアラーの実態調査をすべきではないか。

**答** ヤングケアラーの実態を把握するため、厚生労働省と文部科学省が連携し、中学校2年生及び高校2年生を対象に無作為抽出の全国調査が実施されています。

県としては、国の調査・分析結果の動向を注視しながら、県独自の調査の必要性について検討していきます。

ヤングケアラー…本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子供のこと。



### 県窓口への対話支援 スピーカーの設置

**問** マスク等により今まで以上に聞こえづらさを感じる方々への合理的配慮の提供として、県窓口に対話支援スピーカーを設置してはどうか。

**答** 聴覚障害のある方や高齢により聞こえづらい高齢の方などと円滑にコミュニケーションを図ることは重要であり、筆談やコミュニケーションカードの活用を進めています。

対話支援スピーカーも、有効な手段の一つと考えられるため、県の関係課室に対し、周知していきます。

**対話支援スピーカー**…高性能マイクで集音し、小型スピーカーからクリアな音を発することにより、聞こえをよくするための支援機器のこと。

### 京奈和自動車道の延伸 伸について

**問** 京奈和自動車道の第二阪和国道への延伸について、県の考えはどうか。

**答** 京奈和自動車道の延伸は、和歌山市北部地域の利便性の向上や、中心部の渋滞緩和などの課題解消、地域経済の活性化、そして関西大環状道路の一部を形成することにつながります。

この道路の実現は、最重要課題であり、早期に事業が実施さ

れるよう、引き続き、国に対して働きかけていきたいと考えています。

### 5か年加速化対策

**問** 5か年加速化対策をどう治水対策に活かすのか。

**答** 令和2年12月11日に防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策が閣議決定され、初年度予算を含む国の第3次補正予算が本年1月28日に成立しました。

これは通常予算と別枠で防災関係に重点を置いた15兆円の予算が確保されたということで、この予算を最大限に活用して、この機を逃すことなく治水事業を加速化させていきたいと考えています。

### 南紀白浜空港の更なる活用

**問** 企業誘致のためにはビジネスジェット駐機場整備が必須ではないか。

**答** 新型コロナウイルス感染症の影響で定期便の航空需要が減少する一方で、不特定多数の人と同席せず安全に移動できる手段としてビジネスジェットが注目されており、今後、利用者も増加するものと想定していることから、この好機を逃すことなく新しい時代の挑戦を体現する取組の一つとして、令和4年度の完成を目指して、令和3年度中に着手します。

### 県証紙の廃止

**問** 段階的に県証紙を廃止してはどうか。

**答** クレジットカードや電子マネーを利用したキャッシュレス決済は、証紙に代わる納付方法として、有効な手段だと考えます。

県民の利便性を高めるため、多様な納付方法としてキャッシュレス決済の実現は必要であり、電子申請など行政手続のオンライン化の推進に合わせ、収納システムの構築や運営にかかるコストを勘案の上、段階的な導入を検討していきます。

### カーボンニュートラルへの取組

**問** 県としての今後の取組をどう考えるのか。

**答** 第5次和歌山県環境基本計画では、2050年カーボンニュートラルを目指すことを示したいと考えており、これを達成するために、あらゆる場面で省エネ、再生可能エネルギー導入、イノベーションが不可欠であり、本県が実行可能な対策を積極的に取り入れ、脱炭素社会の推進に取り組んでいきます。

**カーボンニュートラル**…二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引いて、全体として排出ゼロを達成する取組。

### 和歌山県の経済再生

**問** 健康・医療・福祉に着目した新しい産業の創出を目指してはどうか。

**答** ヘルスケアに関連する産業創出及び振興を図るため、東京医療保健大学和歌山看護学部、和歌山県立医科大学薬学部などに、わかやまヘルスケア産業革新プラットフォームへの参画を働きかけるなど、健康・医療福祉分野のニーズと産業界のシーズのマッチングによる新産業の創出・発展に向けた取組を進めていきます。

**わかやまヘルスケア産業革新プラットフォーム**…ヘルスケアに係る課題解決や健康寿命延伸につながる産業の創出・振興のために、地域のヘルスケア関係者（自治体、医療・介護関係者団体、民間事業者など）が連携する協議会のこと。

### 洋上風力発電に対する見解について

**問** 洋上風力発電に係る3か年のゾーニング調査の結果を受けた現時点の見解はどうか。

**答** 洋上に風力発電を設置するには、和歌山県周辺の海は、黒潮の流れが速く、気象、海象が荒々しい上、海そのものが観光資源であり、景観や騒音など様々な環境上の問題も考慮しなければなりません。また、船舶の往来や漁業者の活動など経済的な問題もあります。

それらの問題をクリアする必要があるため、慎重かつ賢明にこの問題に対処していきます。

### 過疎対策

**問** 過疎地域自立促進特別措置法の失効を控え、今後の本県における過疎対策の必要性についての所見はどうか。

**答** 県では新過疎法の制定及び現行過疎法における「みなし過疎」の継続指定、また過疎対策予算の確保などについて、国等に強く要望してきました。過疎対策を継続するため、法による国の支援もうまく使いながら、県としても過疎地域に暮らす人々が夢や希望をもって元気に暮らせるように引き続き全力で取り組んでいきます。

**過疎対策**…過疎地域自立促進特別措置法（みなし過疎）の継続指定、また過疎対策予算の確保などについて、国等に強く要望してきました。

### 県立高等学校の再編整備

**問** 各県立高校を特色あるものに変えていくためには、どのような手立てが必要か。

**答** 偏差値等の一面的な指標による高校選びから脱却するためには、県教育委員会が長期的展望を明確に示し、生徒が夢や希望をもって人生を切り拓くことや、教師が前向きに取り組む中で資質能力を向上させることを促し、結果として、各校の魅力・特色化につなげていくことが重要です。今回の再編整備は、まさにその具体化であり、鋭意取り組んでいます。

### 鳥インフルエンザ対策

**問** 鳥インフルエンザ発生農場に対する鶏舎の修繕等の県の支援はどうか。

**答** 発生農場の経営再開に当たっては、鶏舎側面の金網等の破損や小型の野生動物が進入可能な壁の穴の修繕を行い、国が定める飼養衛生管理基準を満たす必要があります。

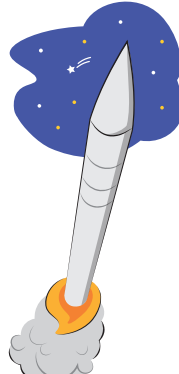
県では、衛生管理の強化等を推進するため、新政策として「畜産施設衛生管理強化支援事業」を推進し、養鶏農場での衛生管理の強化を図っていきます。

### 民間小型ロケット発射場の周辺対策

**問** 交通渋滞対策と併せて、治安・防犯面での住民不安解消、軽減に対し、できることは何か。

**答** 国道42号を走行する車両を円滑に流すための信号時間の調整や、見学場周辺の駐車車禁止規制を考えており、今後、通行禁止規制による生活ゾーンへの流入車両の抑制等についても検討していきます。

また、治安・防犯面については、関係機関等と連携し、予想される状況を把握した上で、パトロールの強化等必要な対策を講じています。





# Information

## 県議会からのお知らせ

県議会では、虚礼を廃止した議員活動を行っていますので、ご理解・ご協力をお願いします。

### テレビ・ラジオ放送

定例会の質問と答弁の様子や委員会の審議状況、議案の審議結果などをお知らせしています。

#### テレビ テレビ和歌山(WTV)

##### 県議会だより(予定)

開会日、質問日、閉会日の22時から25分間放送  
(6月定例会の放送 6/9、16~18、21、25)

##### 県議会手話だより(予定)

閉会日の約1週間後に、22時から30分間放送  
(6月定例会の放送 7/6)

#### ラジオ 和歌山放送(WBS)

##### 県議会ダイジェスト(予定)

開会日、質問日、閉会日の21時30分から15~30分間放送  
(6月定例会の放送 6/9、16~18、21、25)

### 県議会ホームページ

- 県議会のしくみや主な動き、議員紹介、議会日程、質問項目、本会議録など様々な情報を掲載しています。
- 議会開会中は、質問など本会議場での模様を生中継しています。また、この中継録画やテレビ広報番組の録画をいつでも見ることができます。



<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/200100/cms/www/index.html>

### 傍聴してみませんか

- 本会議は、申込みなしで傍聴できます。
- 委員会の傍聴は、事前の申込みが必要です。

#### 令和3年6月定例会 会期日程(予定)

本会議	6月8日(火)・9日(水)
本会議(質問)	6月16日(水)~18日(金)、21日(月)
常任委員会	6月22日(火)・23日(水)
本会議	6月24日(木)・25日(金)

※要約筆記者をご希望の方は、事前に議会事務局までお申し込みください。ただし、申込日によっては、ご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

**New** 定例会の年間日程(予定)を掲載しています。

#### 令和3年度定例会 年間日程(予定)

6月定例会	6月8日(火)から6月25日(金)まで
9月定例会	9月8日(水)から9月28日(火)まで
12月定例会	12月1日(水)から12月17日(金)まで
2月定例会	2月22日(火)から3月18日(金)まで

### 「点字版、CD版」の案内

本紙の点字版、CD版(ボランティアの方による朗読)を作成しています。

発行日 / 令和3年4月29日

編集・発行 / 和歌山県議会

☎073-441-3500 FAX073-441-3559

〒640-8585(県庁専用郵便番号)

和歌山市小松原通1-1

## 4月臨時会の概要

会期 4月9日

項目	件数	概要	結果
予算案件(知事提出)	1件	令和3年度和歌山県一般会計補正予算	可決
専決処分報告( // )	2件	和歌山県税条例の一部を改正する条例 等	承認

質問議員 1人

藤山 将材

### 県内宿泊施設等の利用促進のための増額補正予算案(総額20億円)を可決

4月9日に開催した本会議において、県民を対象とした県内宿泊施設等の利用促進に要する経費として、総額20億円の増額補正を行う本年度一般会計補正予算など計3件の議案が知事から提出されました。これらの議案に対して藤山将材議員が質疑を行った後、委員会審査を経て、本会議で採決を行い、全ての議案を可決・承認しました。

## Topics 議会活動の紹介

### 関西広域連合議会2月定例会

令和3年2月27日、関西広域連合議会2月定例会がNCB会館(大阪市)で開催され、本県議会からは、宇治田栄蔵議員、鈴木太雄議員、藤本眞利子議員、楠本文郎議員の4名が出席しました。

会議では、宇治田議員が一般質問に登壇し、新型コロナウイルス感染症への対応について、関西広域連合におけるこれまでの取組と、今後の役割について質問しました。また、国の支援策について、緊急事態宣言対象地域では、事業者に対する営業時間短縮要請に伴う協力金として対象外地域の事業者よりも手厚い財政措置が講じられているが、対象外地域においても厳しい状況が生じていることを考えると不公平感が否めず、国においては全国的に実効性のある経済雇用対策を公平に講じるべきではないかとたずねました。

この質問に対し、広域防災局委員の井戸敏三兵庫県知事からは、これまで各府県における取組を基本としながら、共通する事項や広域的な事項について、リーダーシップをとり、関西が一体となって効果的に感染症を抑え込めるよう、これまで府県市民向けに「関西・GWも外出しない宣言」などの発出や、各構成府県市の状況や対応についての情報整理、要望事項をとりまとめて国に提案などを行ってきたことについて説明がなされ、今後も、府県市民の健康を守るために広域連合としての役割をしっかりと果たしていきたいとの考えが示されました。また、事業者への支援の格差については、既に全国知事会を通じ、公平な措置について要望しているところであり、今後、その他の国の支援が検討される場合にも、適切な対応が行われるよう、必要に応じて要望を行っていくとの答弁がありました。

このほか、宇治田議員は、「関西広域連合長としての抱負を果たすべき役割」と「ワールドマスターズゲームズ2021関西に向けた取組」について質問を行いました。

### 全国都道府県議会議長会役員会が初めてオンライン会議を開催

令和3年1月27日、東京で開催が予定されていた全国都道府県議会議長会の役員会が、新型コロナウイルスにかかる緊急事態宣言を受け、急遽オンラインでの開催となりました。

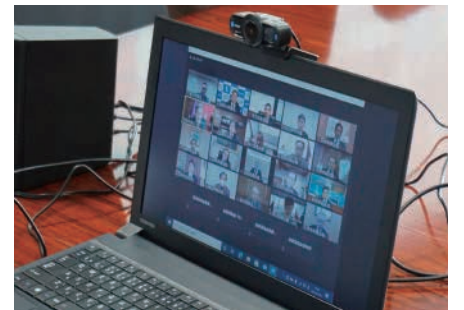
役員会は会長、副会長、理事、監事の19道府県議会で開催されており、近畿ブロックの理事として、本県議会の岸本健議長が参加しました。

会議では、同日に開催予定であった定例総会について、会議の開催に代えて書面協議とすること等を決定した後、全国議長会として政府に要望するための決議案や予算案、標準都道府県議会会議規則の改正等について協議を行いました。

役員会のオンライン開催は初めてのことであり、その運営等において全国議長会事務局のリードで細心の注意を払いながらの開催になりましたが、回線の不具合なども生じず、滞りなく協議が進みました。



宇治田 栄蔵 議員



岸本 健 議長